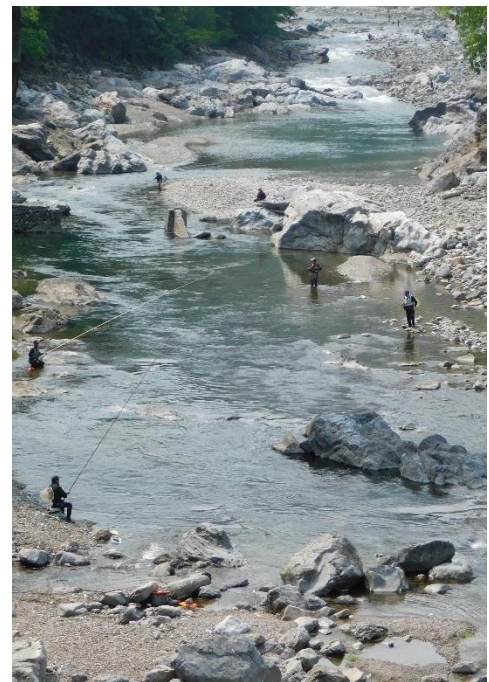
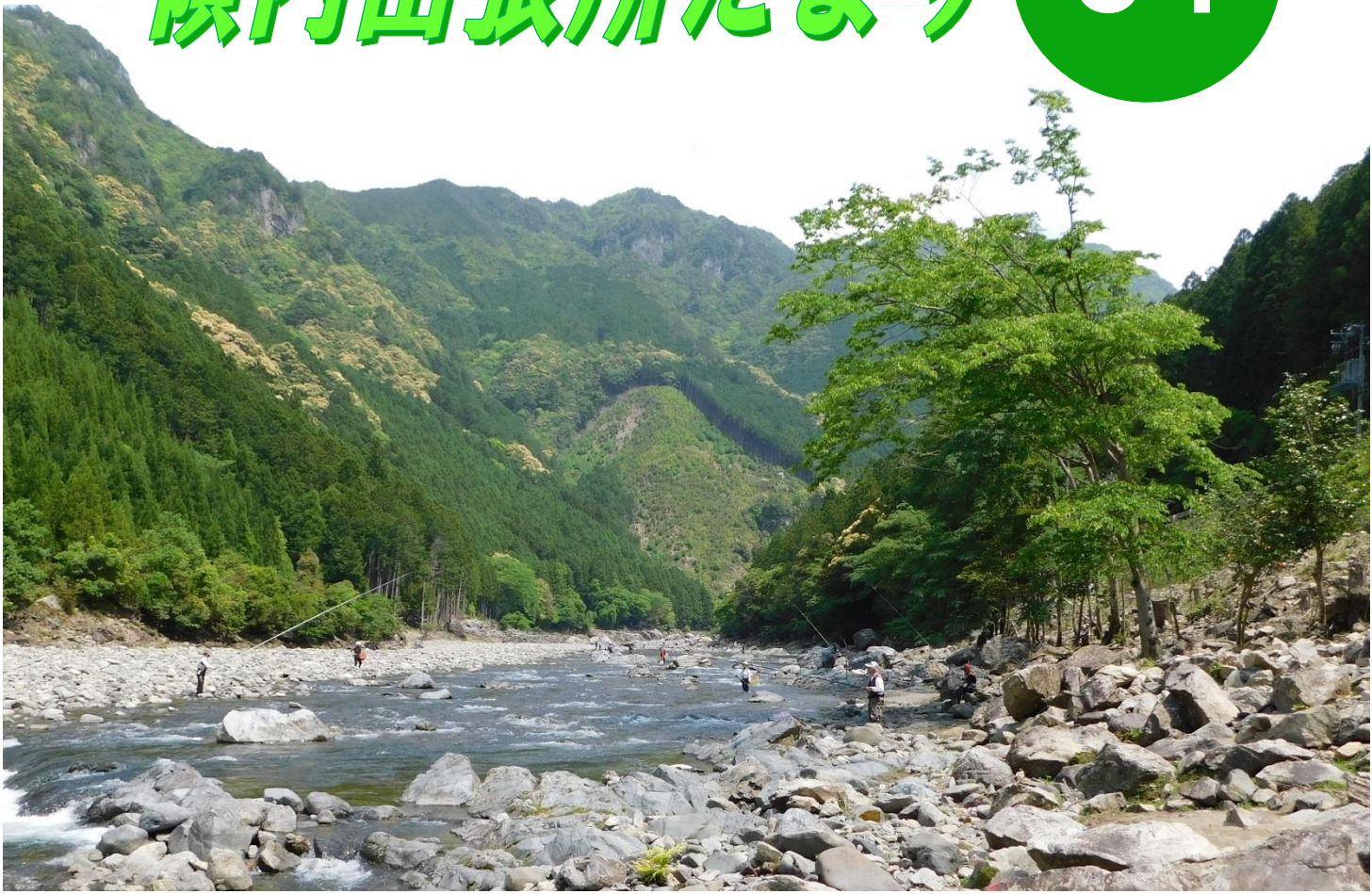


# 領内出張所だより

84



友釣り、解禁！

平成 29 年  
(2017 年)



## モノ社会と私たち

私たちの周りには多くの物と道具があふれています。それによって豊かな生活を送ることが出来ていると言えます。しかしながら高度成長した日本は資源消費を繰り返してきました。便利なモノを生み出した私たちが自らの環境を悪化させ迷走していた時代が現実になりました。

現在においても大量消費であることに変わりないのですが、いたるところで様々な「再利用」や「再生」という言葉を当たり前にするようになりました。100円均一の店舗なども経済の一部ですので否定するものではありませんが、モノを大切にすることや活かす術を私たちは本来知っているのですから、使い捨てるモノを購入するのではなく「利器」として使える逸品を傍らに置いてみてはいかがでしょうか。

## モノのはじまり

遥か大昔の遺跡から先のとがった矢じりが見つかっています。私たちの先祖が狩猟に使った最初の道具ではないかと言われていています。割れた石が鋭かったのを見つけて気に入って使い続けたのだろうかとか、それが動物の牙や角だったかも知れないと想像してみると私たち人類の生きてきた歴史はとても面白いと感じます。

## はさんで切る道具

実際に家庭にある道具のなかで“必需品”なモノに注目してみましょう。

まずは、ハサミを取り上げてみます。

右の写真のハサミはどの家庭でもよく見られました。家庭で裁縫したり繕い作業を当たり前に行っていたから大切に扱われてきました。しかし包丁などもそうですが、鉄製なので錆やすくて手のかかる道具でした。近年ではステンレスやセラミック製、なかにはプラスチックで出来たものもあり、手入れ要らずになってきています。

古くから「ハサミは使いよう」と言われてきましたが、使い方次第で活かされたりします。粗末に扱われたりしたら本領を発揮出来ずに埋もれていってしまいます。



糸切りばさみ

裁ちばさみ



ステンレス製

刃がカーブしていて  
切れ味の良い製品

もの どうぐ  
物と道具は使いよう  
活かしてこそその利器

また、職種それぞれに独特の専用道具としてのハサミも存在します。理容師さんや美容師さんが使うハサミ類、板金業の方に欠かせない金切りばさみ、庭師さんの剪定ばさみ・刈り込みばさみなどです。今では見掛けなくなりましたが、国鉄時代の鉄道マンは改札で切符を切ってくれていましたね。あのハサミも仕事の道具でした。

以前は近くの商店に手提げカゴを持って買い物に行っていましたが、流通も移り変わりほとんど個装してあるものを購入するようになってからは都度ハサミで開封することが多くなってきました。そこでキッチン専用に作られたハサミが登場しました。バネが付いて楽に使えて抗菌仕様だからとても重宝します。



キッチンばさみ



爪切り



爪切り  
イヌ用

日常使っている爪切りなども「はさんで切る」道具のひとつです。こちらも抗菌でステンレス製の安心なものが流通しています。ちょっと前までは愛犬の爪切りをするとは思ってもみなかったのですが、使ったらペット用も手離せなくなりました。

切るものに合わせた姿をしていて美しい道具だと感じるものもあります。右のハサミはトレーナーがテープなどを切るためのものですが、片方の刃先が丸くなっていて緊急時などでは皮膚を傷付けずに衣服などを切り取ることが出来ます。



トレーナー用のはさみ

アウトドア用のハサミも普段邪魔にならないのでポケットに入れてちょっと使いに利用しています。



折り畳み式  
アウトドア用



角を丸く切るパンチ



いろんな型取りが  
出来るクラフトパンチ



業務用パンチ

上のパンチ類も「はさんで切る」道具としては仲間と言えます。手渡す紙の角を丸くするひと手間は相手に対する心配りであり、道具のちからを借りると楽に行えます。状況や作業に合ったハサミがまだまだあります。アイデア次第ではもっと派生していくでしょう。次号は「はさんで留める」道具としてのハサミを取り上げてみたいと思います。

# 今月の備忘録

忘れていませんか？

今月はクルマの持ち主の方に



大台町からは

軽自動車税

三重県からは

自動車税

の通知が送られました。

口座振替の手続きをされている方は **5月31日** に引き落とされますので  
確認をお願いします。

減免を受けられる方の申請期限も **5月31日** です

6月1日から郵便はがきの料金が変わります。

52円 → **62円** になりますので気を付けてください。

(年賀はがきについては52円のまま変わらないようです)



## 今月の

## 領内ふれあい絵手紙

5月は9日に集まって  
絵手紙を書いていただきました。

### 29年6月の予定

とき **6月6日(火)**  
ごご**1時30分～3時**  
ところ **領内地域総合センター**



あじがき

鮎の友釣りが解禁になりました。毎年一番手なのかと思いきや、5月1日に和歌山県の有田川が先に川を開けていました。宮川上流より十日も早いにはちよっと驚きです。

例年どおり前日の明るいうちから当日の明け方まで、車がどんどん上がっていく音を聞きながら過ごしましたが、私が友鮎を連れて川に行くことは今年も無さそうです。食わず嫌いではないですし、子どもの頃は自宅の下の川で友釣りをした記憶もあります。ですが、故郷に帰ってきたばかりの夏にセンスの無さを痛感しました。糸の先でふたつの鮎がかなりの時間仲良く泳いでいたことを知って愕然とし、恥ずかしくなりました。それ以後握らなくなりませんでした。そんな私ですが、久し振りの初夏の宮川は賑やかで気持ちよく感じました。